

静岡県静岡市(清水地区)

【目指す中心市街地の都市像】

いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地(まちの顔)の実現

中心市街地活性化基本計画

【3期計画:令和4年4月～令和9年3月】

【静岡市の概要】・人口684,264人(R3年6月1日現在)、面積1,411.83km² (旧清水市(蒲原町・由比町含む):人口227,537人、面積265.02km²)
平成15年4月1日に旧静岡市と旧清水市が合併して誕生。駿府城下町として長い歴史を有し、東海道の要衝として栄えてきた。また、国の特定重要港湾・清水港を擁し、世界的な物流機能も備えている。平成17年4月1日に政令指定都市に移行。

【清水地区】人口5,997人、面積1.3km²

【中心市街地の課題等】

1) 産業構造の変化による商業機能の衰退

清水地区周辺の海洋産業の変化による都心活力の低下に伴い、小売や飲食などの商業機能が衰退していることが課題である。

※新規事業者数 H29:6件→R2:4件

2) 観光客数の減少、拠点間のアクセスやつながりが不十分

清水地区には、港やウォーターフロント、地域キャラクターなど魅力的な地域資源が豊富にあり、それらを活用した事業の展開をしているが、イベントの開催等を十分に行うことができず、来街機会が減少し観光客等の来街者数が減少していることが課題である。

※観光客数 H26:646万人→R2:290万人(356万人の減少)

3) 中心市街地人口の減少

清水地区の居住人口は再開発事業等の整備により一時的に減少傾向が底を打ったものの近年は再び減少傾向が続いており、まちなか居住が減少していることが課題である。

※中心市街地人口 H28:6,057人→R2:5,808人(249人の減少)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値
共通目標	歩行者通行量(平均)	933人(R2)	1,163人(R8)	1,312人(R8)
訪れたい港町	新規事業者数(累計)	14件(H28～R2)	28件(R4～R8)	38件(R4～R8)
にぎわいのある港町	観光客数	290万人(R2)	652万人(R8)	685万人(R8)
住み続けたい港町	中心市街地人口	5,808人(R2)	5,446人(R8)	5,496人(R8)

【中心市街地活性化の方針】

【基本方針①】魅力的な人とお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上

清水地区ならではの魅力ある商業を集積させ経済活力を取り戻すため、チャレンジショップや空き店舗出店支援事業等を実施し、地域商業の活性化を推進していく。

【目標】訪れたい港町

【指標】新規事業者数(件)

「全24事業(重複含む)」

【基本方針②】人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出

中心市街地の個性(地域資源、ウォーターフロント、港等)を活かした活性化を推進し、中心市街地を舞台に、訴求力が高く賑わいを生み出すイベント等を官民連携して実施していく。

【目標】にぎわいのある港町

【指標】観光客数(万人)

「全42事業(重複含む)」

【基本方針③】居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進

海辺を活用した魅力的な空間整備や移住促進事業等に取り組み、住み続けたい港町を目指していく。

【目標】住み続けたい港町

【指標】中心市街地人口(人)

「全21事業(重複含む)」

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
“わくわくドキドキ”にぎわいと活力のまち	観光客数	646万人(H26)	677万人(R3)	652万人(R1) 【未達成】
“てくてくららく”あちこち巡るずっと居たいまち	滞在時間	2.8時間(H26)	3.0時間(R3)	2.5時間(R2) 【未達成】

静岡市中心市街地活性化基本計画（清水地区）の事業概要

魅力的な人とお店が出会い新たな
価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上

○（仮称）空き店舗対策事業

主に江尻地区の商店街の空き店舗を対象に、新規店舗の出店や新たなにぎわい創出を目的にチャレンジする事業者に対し、その費用の一部を助成することで商店街に新たな風を呼び込む環境づくりを行う。

①チャレンジショップ出店支援事業

中心市街地への新規出店を促すため、中活区域内に立地する大型商業施設の空きスペースを活用したチャレンジショップ支援事業を実施する。地域の魅力的なお店に対し中心市街地への出店の後押しをする。

人々が訪れてみたいと憧れを抱く
個性あるまちづくりによるにぎわいの創出

②（仮称）海洋・地球総合ミュージアム整備事業

水族館や博物館といったこれまでのミュージアムの垣根を越えた「海洋・地球の統合的理解」へ向けた、他に類を見ない新たな視点のミュージアムの施設整備を進める。

③（仮称）パークアネックス整備事業

日の出エリアに立地する商業施設の新館をウォーターフロントを活かした新たな商業施設としてリニューアルすることで、清水地区の商業機能の強化及び中心市街地への来街者の増加を見込む。

④清水七夕まつり開催事業

毎年7月に開催している清水地区を代表するイベント。市民が作成した七夕飾りを商店街のアーケードに展示し、期間中は50万人前後が来街している。当該イベントを引き続き推進していくことで観光客数や通行量の増加を図る。

⑤エスパルスドリームプラザ無料シャトルバス運行事業

江尻地区（JR清水駅）と日の出地区（商業施設）を結ぶシャトルバスを毎日運行することで両地区間の回遊性向上を図る。

○シェアサイクル推進事業

JR清水駅を中心に複数のサイクルポートを設置し、いつでも、どここのポートでも自転車の貸出・返却ができる新しい移動システムを整備・推進することでまちなかの回遊性の向上による中心市街地の活性化を図る。



居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進

⑥JCHO清水さくら病院整備事業

郊外に立地している病院を中心市街地区域内に移転し、周辺整備等も一体的に行うことで清水地区の都市機能の強化を図る。

○移住促進事業

移住セミナーの開催、移住体験ツアー、相談員の設置、お試しテレワーク体験等を一体的に取り組むことで居住人口の増加を図る。